



曹洞宗管長  
大本山永平寺貫首

ふくやまたいほう  
福山諦法

# 春陽華開



梅花新聞【香里】  
第35号  
題字 管長 福山諦法禪師  
発行者 佐々木 孝一  
発行所 曹洞宗務庁  
企画編集 伝道部詠道課

お誓い

- ・私達は梅花流詠歌を通して、正しい信仰に生きます。
- ・私達は梅花流詠歌を通して、仲よい生活をいたします。
- ・私達は梅花流詠歌を通して、明るい世の中をつくります。

新年明けましておめでとうござい  
ます。年が改まりました。皆さまに  
は身心健やかに正月を迎えられたこ  
とと思います。

私も雪の祖山にて一齡を加えまし  
た。修行僧と共に規矩に順って行持  
ができる法幸は、この上もありませ  
ん。一人では為し難いことでも、僧  
伽の中に在ればこそ、坐禪堂裏に三  
昧に入り、粥飯を頂戴できるのだと  
実感いたします。新到も古参も私も、  
夫々が自己の任を果たすことに、懸  
命でなければなりません。叢林にお  
いて優劣は無く、求道の念の有りや  
無しやを問うのみです。

梅花講中の皆さまも又、仏祖の御  
教に参じ得た喜びを、知るか否かに  
関わることを言えましよう。優婆塞  
(清信士) 優婆夷(清信女)である

ことを自覚して、怠らずご精進ください。お  
誓いの文に則して和合を旨とし、上手に流れ  
ず下手に屈せず真心を以てお唱えいたしま  
しよう。

梅花流が今日の隆盛にあるのは、ひとえに、  
先達の苦勞功德のお陰です。創立以来六十  
一年、師範・詠範・教範の方がたは、気持も新  
たに梅花の発展に尽くしたいものです。講員  
数の増減があると雖も、梅花の詠道を通じて  
一仏両祖の正法をお伝えくださいますよう。  
又、平和な香里に春風が吹き渡り、笑顔の花  
が咲きますことを祈念して挨拶いたします。



## 梅花流創立六十周年記念

## 奉讃大会

●平成二十四年五月二十九日・三十日、千葉県「幕張メッセ」



昭和二十七年に誕生した梅花流は、創立六十周年を迎えることができました。これを記念して、両大本山猊下のご来臨を賜わり、創立六十周年記念奉讃大会を盛会裡に開催いたしました。

## オープニング

静寂のなか、大梵鐘が鳴り響き、続いて舞台中央の地球をイメージした、大きな球体が鼓動し始めます。そして、球体が割れると同時に煌々と照らされ、副大会長・齋藤裕道伝道部長が現れて開会の宣言をされました。それと共に、光り輝く金と銀の散華が降りそそぎ、記念大会の輝かしい幕開けとなりました。

## 第一部 法要

記念法要は、曹洞宗管長大本山永平寺貫首・福山諦法猊下に大導師をお勤めいただき、また東日本大震災被災物故者及び梅花講員物故者追悼法要は、大本山總持寺貫首・江川辰三猊下大導師のもと厳修されました。法要後は両貫首、両副貫首へ参加者一同相對してご挨拶の合掌礼拝し、管長猊下よりご垂示（おことば）を賜りました。



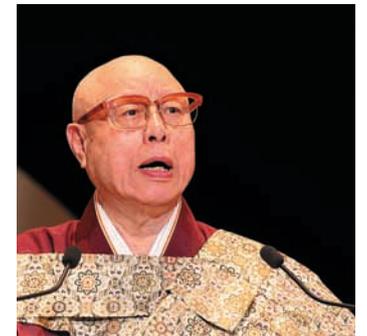
## 第二部 記念式典

始めに、今大会にお越しいただいた各宗各流派の方がたをご紹介いたしました。続いて会場全体で「慶祝御和讃」を奉詠した後に、大会長・佐々木孝一宗務総長より式辞が述べられ、表彰式へと移りました。

## 第三部 新曲発表



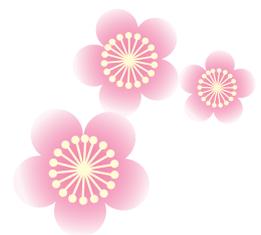
創立六十周年を記念して新曲「道心利行御和讃」が発表されました。この曲は、曹洞宗がかかげる布教教化方針の「向き合う 伝える 支えあう」をテーマのもと作詞されました。作詞者の千葉県正法院住職・遠藤長悦老師に解説をいただき、内局・梅花講審議会委員・梅花流専門委員の計二十二名による、厳かなお唱えがなされました。



## 第四部 奉祝奉詠



今大会は、代表登壇と自席による奉詠で、ステージ上で奉詠される方と自席で奉詠される方が一体となってお唱えされています。中には、かわいらしい子供の講員さんによる登壇もあり、会場から歓迎の拍手が興っていました。





### 第五部 清興

清興出演は、岩手県安養寺檀信徒である歌手の新沼謙治さん。代表曲「嫁に來ないか」など、新曲を含め数曲熱唱いただきました。途中、新沼さんの子供の頃からご縁のある故郷の講師さんより花束贈呈のサプライズがあり、会場は大いに盛り上がりました。

### 第六部 閉会式

会場全体が静寂に包まれるなか、詠讚師による独詠「坐禅御和讃(浄心)」が唱えられ、心静かに坐禅をいたしました。独詠の後、副大会長・齋藤裕道伝道部長より「今日のこの大会を楽しんでいたかったですか」との挨拶に、会場から盛大な拍手が湧き起りました。

続いて、「平成二十五年度梅花流全国奉詠大会」が宮城県にて開催されることが発表され、宮城県宗務所三宅良憲所長よりご挨拶をいただきました。復興に際し全国のご協力頂いた皆さまへ感謝の気持ち伝えられ、そして「今だからこそ開催する意味がある」と、来年の三回忌法要と復興への強い想いを述べられました。

最後に「まごころに生きる」を会場全体で合唱し、皆さまの笑顔と歌声に包まれるなか、梅花流創立六十周年記念奉讃大会は幕を閉じました。



# ワンポイント レッスン

梅花流専門委員  
北海道 禅峯寺  
安藤英明



## 共に歩んで六十年

皆さん、元気でお唱えして下さっていますか？何時も全力での梅花奉詠、本当に有り難く思います。昨年は梅花流

創立六十周年を皆さんと共に迎えることが出来ました。その記念大会も趣向に溢れた楽しい大会となり、とても嬉しく思っています。残念ながら昨年は参加できなかった方がたも、今年の全国大会では是非一緒に参りましょう。

六十周年の記念事業の一環として、新曲「道心利行御和讃」が発表されました。今回のワンポイントレッスンは、この新曲を共に学んで参りましょう。

詠題の『道心』とは、仏道を歩む決心を示す言葉とされています。「梅花への取り組みが仏道そのものである」と私たち皆で受け止めて精進することです。

『利行』とは、菩薩さまの誓願を私たちも行っていくことに他なりません。「修証義御和讃」に「生きとし生けるものみなをもらさず救いたすけん」と誓うところぞ仏なる」とありますね。「私たちの奉詠によって救われる人がいる」という心意気でお唱えして下さるようにお願います。

世の中の厳しい現実を私たちは避けて通ることが出来ません。それでも天地自然の恵に対する感謝の心を忘れず、一日の務めを爽やかな笑顔で粛々と果たしていければと願うものです。

## 道心利行御和讃

一行目 「しゅじょう」の「しゅ」、二拍目の音と「さいど」の「い」の音は、3:1符と2:2符の違いをしつかり把握してツヤの処理を心掛けてください。

二行目 「みほとけ」の「け」は1:1:2符ですから、スピード感の有る音の流れを作ってください。

三行目 高音部が続きます。音が低めにならぬようしつかりと高音域を狙っていきましょう。

四行目 低いド音でのイロが難しい箇所ですが、あつさりど流すようなつもりで処理した方が聞きやすいように思います。全体に1:3符が多いので、スピード感の有る1:3符の音を心掛けてください。

また、二行目と四行目の「つーね」「いーの」の音が混同されやすいと思います。二行目はミb音からド音にしつかり音を下げます。四行目はミb音からレ音への半音程なので、音の変化を曖昧にするイメージを持つことで随分と混同が防げると思います。  
五行目・六行目 三行目・四行目のリフレインですが「あなた…」以下の歌詞に願いを込めてお唱えください。「思いよ届け」という気持ちで。

皆さんが支えくださり、伝えてくれるこの梅花流、どうか真摯に向き合って共に歩んで参りましょう。



\* 単調だが曲想を考慮し、重く悲しげにならないよう注意する

### 道心利行御和讃

願いをこめて

三番 あらためて発音しない 一音 あらためて発音しない

拍速四五位

音程に注意

1:1:2が2:1:1になりやすい

音程に注意

三番 あらためて発音しない

音にならないように

音程に注意

上行軽く

音程に注意

音にならないように

音程に注意

一音 あらためて発音しない

音程に注意

大本山  
永平寺

平成二十四年度宗務庁主催

## 梅花流檀信徒講習会

溪流のせせらぎと、涼秋の木漏れ日に包まれた深山幽谷の地に建つ福井県大本山永平寺にて、宗務庁主催梅花流檀信徒講習会が開催されました。昨年は東日本大震災の影響のため大本山總持寺にて、本年度は大本山永平寺のみの開催となりました。厳かで静寂な雰囲気の中、全国よりたくさんのご参加をいただきました。



〈講師を囲んでの講習〉 皆さん熱心に受講されていました。



〈食事の様子〉 食べるのにも作法があり、食事も修行のうちです。



〈永平寺法堂にてお唱え〉 優しい歌声と旋律が響き渡りました。

## 梅花流創立六十周年記念事業

梅花流創立六十周年を記念して、講員の皆さまへ両大本山への報恩拝登、ならびに詠讃歌の奉詠を各宗務所へ呼びかけをいたしました。そこで、今回ご本山に参拝された講員さんのお話を伺いました。



宗保院梅花講

河原慶子

—— 感想を聞かせて下さい

梅花流創立六十周年を迎え、大きな喜びを感じております。ご本山への報恩拝登を兼ねて、東京都宗務所五十五周年記念奉詠大会で大本山永平寺を訪れました。今日、健康で梅花に励むことができたことをありがたく思い感謝の気持ちで一杯です。

—— ご本山での奉詠はいかがでしたか？

境内へ一歩一歩近づくにつれ、ご本山に参拝したことを嬉しそうに話していた、義父の在りし日の思い出が甦ってきました。その義父の大好きな御本山にて、先祖供養の奉詠が出来ましたことは、義父へのなよりの供養になりました。

# ● ばいかくん ばいかさん News ●

## ばいかさんの 質問コーナー



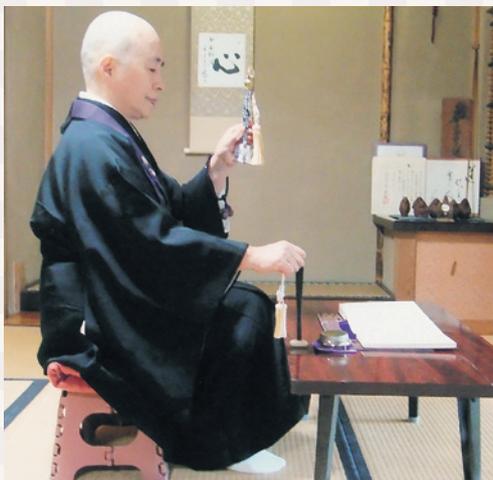
こんにちは、ばいかさんです。

去年は梅花流創立六十周年を迎えて、記念すべき大会をみなさんと一緒に参加することができてとっても嬉しかったです。全国の講員さんとふれあい、声をたくさん掛けてもらいました。大会でのみなさんのお唱えはとても上手で感動しました。わたしもあんなお唱えができるよう練習しなくちゃ。

**(ばいかさん)** 梅花流で使う椅子・机で公認のものはあるんですか？

**(山田先生)** 規定として決まっているものはありません。ただ、椅子と机の高さが極端に違うと姿勢がくずれてしまいますね。高さはできるだけそろえた方が良いでしょう。思います。

**(ばいかさん)** 椅子・机を使うと作法は変わりますか？



お寺の長机・折り畳み椅子にて奉詠

**(山田先生)** 特別変わることはないですよ。但し椅子にかけた場合に足はきちんと揃えてお唱えいたしましょう。また、教典の字が見えにくくなった時は見台を使ってお唱えもできます。自分の体に合わせて楽しくお稽古しましょうね。

**(ばいかさん)** 専用の椅子・机はお値段が高いつて聞いたのですが…

**(山田先生)** そうですね。なかなか手をだせないですよ。ただ、お寺では背の低い長机や、身の回りにあるもので代用しています。ホームセンターで買った安価の折り畳み椅子を携え講習に来ていられる方もいるそうですよ。

**(ばいかさん)** 山田先生ありがとうございます。わたしもホームセンターで探してみよう！

今大会もたくさんの  
出会いがありました。  
楽しかったね！

## ふれあい スナップ コーナー





記念品発送遅延のお詫び

昨年開催いたしました、梅花流創立六十周年記念奉讃大会の記念品発送のお届けが大変遅れてしまいました。皆さまには多大なるご迷惑をお掛けしましたこと、深くお詫び申し上げます。

梅花流詠讚歌教典・梅花流詠讚歌集

こついで(お詫びと訂正)

梅花流詠讚歌教典(改訂第三版二刷発行)並びに、梅花流詠讚歌集(梅花流創立六十周年記念奉讃大会記念品)に誤りがございました。謹んでお詫びし、訂正いたします。

《梅花流詠讚歌教典》

教典目次

まごころに生きる

↓まごころに生きる

まごころに生きる 曲譜

新亡精霊供養御和讃

279 275 273 273

↓新亡精霊供養御和讃  
新亡精霊供養御和讃 曲譜

281 279

《梅花流詠讚歌集》

P85 高祖承陽大師道元禅師修行御和讃(菩提)の六行目四番を表す(4)の抜け落ち。

(四) やまかわいずくも

P157 同行御和讃一番の最後の行

Diagram showing the correction of a chant line. It includes symbols like triangles and circles, and the text 「を」の梅花符 1・1・1を 2・1・1

被災された講員の皆さまへの 支援募金(現状報告)

昨年度、特派師範の発議により、東日本大震災で被災された講員の皆さまへ、法具類を贈るため募金活動を行いました。それにより、全国の講員さんから一五、九〇〇、〇八四円(平成二十四年十一月七日現在)の募金が集まりました。内、一二、〇五一、二八八円の支出で、被災地三県へ法具、梅花服等を贈ることができ、残金三、八一八、七九六円にて被災された講員の皆さまへ、講員章・教階章・

補命状を無償に再交付するための作成支出を予定しております。尚、平成二十五年三月三十一日を期限といたしまして募金活動は終了させていただきます。以降は福祉課の災害義援金へと移行いたします。ここに、尊いお志をお寄せいただきましたこと、改めて厚く御礼申し上げます。

新型「詠讚歌トレーナー」販売のお知らせ

以前販売しておりました梅花流コンダクターが生産中止となり、それに代わる新たなコンダクター「詠讚歌トレーナー」を制作することとなりました。

販売期日等、詳細は後日「曹洞宗報」・「曹洞禅ネット」にてご報告いたします。



《伝道部》

\*訂正・お詫び

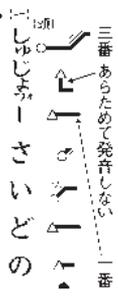
平成二五年一月二二日発行の梅花新聞『香里』三十五号の第五面「ワンポイントレッスン」中、左記に誤植がございますので、訂正をお願いいたしますと共に、謹んでお詫びいたします。

※三段目

誤



正



誤

・単調だが曲想を考慮し、  
短調だが曲想を考慮し、

正

・単調だが曲想を考慮し、  
短調だが曲想を考慮し、